

部局名

産学・地域連携センター  
知的財産部門

担当: ( 荒武 尚 )



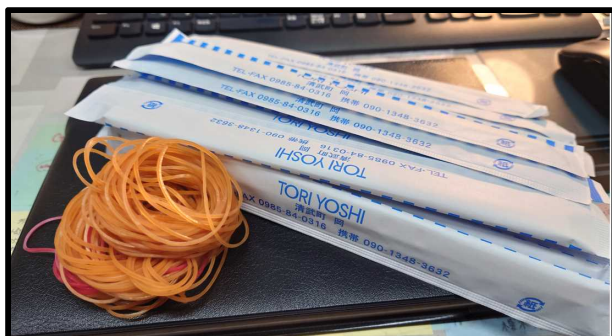
テーマ

マイ箸・マイスプーンの使用実践

## 取組の様子



\* 愛用のマイ箸・マイスプーンです。



\* 輪ゴムと割り箸は、ほんの一部です。

## 特色ある取組

昼食はほぼ毎日、仕出し弁当(380円也)をいただいています。ご飯とおかずは、プラスチック製の使い捨て弁当箱。弁当屋さんのご配慮で、かならず割り箸が紙の袋に包まれて、弁当に添付されています。稀に少し高めの丼ものの弁当を頼むこともあります。これにはプラスチック製のスプーンが付いてきます。実に当たり前のお昼の見慣れた風景です。かつて、「マイ箸ブーム」というのがありましたが、最近はマイ箸を持ち歩くヒトは殆ど見かけませんね。そこで、昼の弁当で「マイ箸・マイスプーン」に徹してみることにしました。ついでに弁当箱の蓋を留めている輪ゴムも取っておくことにしました。

## 期待できる成果

結果は、左のとおりです。約1年続けていますが、一部を紹介します。弁当箱の蓋を留める輪ゴムは半年分、割り箸はこの5倍ほど。相当な量に驚いています。弁当屋さんにお返しするわけにもいかず、何に転用すべきか、思い悩んでおります。これに併せて、プラスチックの使用済み弁当箱も、毎日食後にきれいに洗浄しています。今はこれをプラゴミとして廃棄しているのですが、いずれは乾燥させて、まとめて何かにリサイクルできないものかと思案中です。燃えるごみ、プラスチックごみの問題が深刻と言われて久しいですが、身近なところにも問題の一端が隠れているのかもしれない。自分の意識の改革が、みんなの意識改革につながり、いずれは社会の価値を変える、、、とまでは言い過ぎですが。

まずは今一度、「マイ箸・マイスプーン」の流れを学内に広められないかと思う、今日この頃です。